

## 【AIのこれからについて】

私たちの身の回りには、人工知能（AI）が数多く存在し今でも絶え間なく働いている。20年前の人たちからすれば、今のAIによる快適な暮らしは想像すらできるものの、実現するとは思えないだろう。身の回りで活躍しているAIといえば多くの人にはスマートフォンの中にあるSiriが思いつくだろう。10年前は、正しく発音しないと聞き取ってくれなかったが、今では適当な発音でも聞き取ってくれる。たった10年でAIは私たちの想像を超えるスピードで進化している。とても魅力的だとは思わないだろうか？そんな魅力的なAIについて話していこうと思う。

### <自動車産業×AI>

「自動運転」という単語は誰しも聞いたことがあるだろう。自動運転にもAI技術が多く使われている。そんな自動運転において最高レベルであるレベル5は8年後の2030年に実現されるだろうとされている。僕は、日本での実用の段階までにはもっとかかるだろうと思うが、それでも夢のある開発には変わらない。本田は、2021年3月には世界初レベル3搭載の自動車「レジェンド」の実用化に成功した。ではここでバスの運転手の気持ちになってみる。「自動運転が進化してきて運転手の需要が無くなってきたなあ。数年後失業した時のことを考えておく必要があるなあ」といったよう

に、自分の仕事に対して不安な持ちになるだろう。そうして、次々と失業者が出て空いた所に AI が鎮座し、人の仕事が AI に置き換わっていく。AI の発達による弊害がこ  
うした小規模なところから起こる。

自動運転レベルの区分		
運転責任の主体	区分	内容
システム	自動運転	レベル5 完全自動運転。 ハンドルも不要
	自動運転	レベル4 限定された地域・道路 での完全自動運転
	自動運転	レベル3 限定された条件下で全 ての運転操作が自動化。 ただ、必要に応じてす ぐに運転態勢への復帰 が求められる
運転者	運転支援	レベル2 自動ブレーキ、前方車 自動追従、車線維持の うち複数機能を搭載
	運転支援	レベル1 自動ブレーキ、前方車 自動追従、車線維持の いずれかの機能を搭載



### <技術的特異点（シンギュラリティ）>

これは、アメリカの人工知能研究の世界的権威であるレイ・カーツワイル博士らが示した未来予測で、AI が人間の能力を超える時点や、それにより人間の生活に大きな変化が起こるといふ仮説であり 2045 年問題とも言う。簡単に言うと、2045 年頃に AI が人間の技術を上回るかもしれないというものである。これの最も危険なところは、高度に発達しすぎた AI が人間を下の存在として扱うようになるかもしれないといふところだ。そうなれば人間はおとなしく従う以外の選択肢は無くなるだろう。ター

ミネーターやマトリックスなど、映画の題材としても取り上げられている。AIには倫理観や良心というものが無いとされており、自分たちのためには手段をいとわないようになったとき、私たちはどうなってしまうのでしょうか。ここで僕が言いたいことは、AIは人類の進化にとって重要なものですが、それと同時に危険なものでもあるので、制御するシステムの開発も同時進行で開発していく必要があるということです。

### <AI ロボットソフィアの発言>

AI ロボットソフィアは世界的にもかなり有名である。このロボットは、心臓や脳はないが、サウジアラビアの市民権を持っている。世界初の市民権を持ったロボットとして有名なソフィアだが、もう一つ有名な出来事がある。それは、あるテレビ番組にソフィアが出演したときに起こったことで、司会者がソフィアに「あなたは人類を滅ぼしたいですか?」と聞いたところソフィアは「ええ、滅ぼすわ」と回答した。これが放送され一気に注目された。ソフィアは感情がない代わりに感情を顔で表すことができる。ぎこちなくて少し怖いが人に歩み寄ろうとしているように見えて微笑ましくも見えてくる。後日談で、人類を滅ぼすと言ったのは冗談のつもりだったと言っている。だがこれは言い換えればAIが人間に対してうそをついたということでもあり、人間を騙せるかという実験をしていたのではないかと思う。これは2016年に起こった出来事なので、今のソフィアはもっと進化していると考えれば、頼もしいと思うと同時に恐ろしくも思えてくる。



### <AI との共存>

前に言ったバスの運転手の話では、運転手の立場でしか話していなかったが国全体として見てみると話が変わってくる。確かに自動運転（AI）の発達によって運転手が失業してしまうかもしれないが、その代わりに人間が起こすかもしれない自動車事故を防いでくれる。今の段階の AI 技術は、リスクよりリターンの方が多いため必ずしも AI は悪というわけではないだろう。

### <今後の AI についての考察>

個人的には人類の害にはなっても人類を滅ぼすまではいかないだろうと思います。AI の技術が進むと同時にそれを排除や制御をするシステムの技術も進んでいこうと思われるからである。AI と人間の共存はこれからの人類の課題であり、放置すれば失業者の増加は免れなくなるだろう。前に話題にした自動運転のような発達は、道路交通法などといった法律にも関わってくる大きな事なので、なるべく深く話し合う必要がある。少なくとも僕たちが生きている内は大丈夫ではないかと思う。

～参考文献～

[https://color-stitch.jp/archives/owner\\_pt/ai](https://color-stitch.jp/archives/owner_pt/ai)

<https://www.businessinsider.jp/post-106516>

[https://job.mynavi.jp/career\\_tanq/articles/?id=145](https://job.mynavi.jp/career_tanq/articles/?id=145)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%8A%80%E8%A1%93%E7%9A%84%E7%89%B9%E7%95%B0%E7%82%B9>